

未来へ向かうニューシャトル 新型車両 2020系

平成27年から順次導入している最新型の車両です。車体がステンレス製からアルミ製に変わり、軽量化を行いました。走行エネルギーの低減と優れたリサイクル性を実現しています。



特徴的な六角形の車体断面は、車内が最も合理的に広くできる形状として採用されました。並走する新幹線に引けを取らないより未来感のあるデザインへと一新し、2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。

車両はH2A ロケットも製造する三菱重工業(株)製です。



この4月1日には、主に通勤通学時間帯に増発するダイヤ改正をし、さらに利便性が高まりました。

これからも未来へ向かう伊奈町の風景の一部として、そして伊奈町にとってなくてはならない交通機関として、町の発展とみなさんの生活を支えるために走り続けてくれることでしょう。

① 既存車両と比較してシートを拡大しバケット化。座面や背面の角度にもこだわり、より快適なものとなりました。ドア開口部も拡張し、乗り降りしやすくなっています。

② バリアフリー設備
先頭車のドア横には優先席と車椅子スペースを設けているほか、随所にバリアフリーになるよう配慮されています。また、注意喚起をする情報にはピクトグラムを採用しています。

各種イベントも盛り上がっています！

①丸山車両基地まつり

毎年11月に開催。人気のシミュレーターの体験や駅弁・車両部品の販売など、大勢の鉄道ファンや親子連れで賑わっています。



③鉄道むすめ「丸山はやみ」



1月11日、ニューシャトルの運転士をイメージとした鉄道むすめ「丸山はやみ」がデビューしました。

鉄道むすめとは、実際の鉄道事業者で活躍する制服を着たキャラクターコンテンツです。今後さまざまなイベントに登場し、ニューシャトルを盛り上げていきます。誕生記念としてオリジナルデザインのフリー乗車券が発売され、2020系の車両にヘッドマーク（今月号表紙）が掲示されました。



②イナセン



昨年12月16日、ロックバンド「THE イナズマ戦隊」（愛称イナ戦）と埼玉新都市交通伊奈線とのコラボ企画。特別列車や車両基地でのアコースティックライブが開催されました。

当日のライブで披露されたオリジナルソング「イナセン」は、こちらからご覧ください。



ニューシャトルの雑学

これを知っていたらシャトル通

①名称の由来

起点の大宮駅と終点の内宿駅とを織り機の梭（ひ）「シャトル」のように行き来する意味から名付けられました。

②安全装置

新幹線や山手線が採用するコンピュータによるATC（自動列車制御装置）を採用し、安全第1で運行しています。

※ATC（Automatic Train Control）運転中の列車が、前方の列車に接近した場合や急カーブを通過する際、自動的に列車の速度を制限し、安全に走行できるように制御する装置。

③ダイヤの正確性

踏切がないため交通事故等の心配も少なく、ダイヤ

イヤも他の鉄道会社と比較してとても正確。昨年度は30分以上の遅延は1回だけです。

④ニューシャトルの運転士さんは全部で35人

そのうち2人が女性運転士さんです。（平成30年3月現在）リアル丸山はやみちゃんですね。

⑤車両カラーデザイン

沿線を彩る7色の輝きで伊奈線の未来を描く「セブン・ドリーム」をコンセプトとしたニューシャトルの新しいシンボルマークに合わせて2020系の車体のカラーも7色の展開を目指しています。（現在3色）

